

名蟾蜍陶隱居云此是腹大皮上多疥磊者故本草和名舉蝦蟇一名蟾蜍云和名比支月令正義引李巡注蟾諸蝦蟇也亦與本草同證類本草引陳藏器云蝦蟇蟾蜍二物各別蝦蟇背有黑點身小能跳接百蟲解作呬々聲在陂澤間舉動極急蟾蜍身大背黑無點多疥磊不能跳不解作聲行動遲緩在人家濕處本經云蝦蟇一名蟾蜍誤矣爾雅蟾諸郭注云似蝦蟇亦蟾諸蝦蟇不同本草云蝦蟇一名蟾蜍者統言之耳淮南子精神訓注爾雅李巡注後漢書張衡傳注皆以蝦蟇注解蟾蜍陶氏所說是蟾蜍非蝦蟇源君訓蝦蟇爲加閉流訓蟾蜍爲比歧從析言之說也按說文蚺龜詹諸以脰鳴者又云先龜詹諸也其鳴詹諸其皮龜々其行先々又載龜字云龜或从食又云龜龜詹諸也詩曰得此龜龜言其行龜々依之爾雅龜龜當作龜龜若龜龜又可知蟾蜍詹諸之俗字耳

〔康頼本草〕下魚部下品蝦蟇 和比支加惠留又云比支五月取陰東行者良

〔醫心方〕諸藥和名蝦蟇 和名比支

〔類聚名義抄〕十蟾蜍 占徐二音

〔物類稱呼〕二動物蟾蜍ひきがへる 五畿内及參遠又は越路などにてふくがへるといふ伊賀伊勢にてひきご西國にてわくどう又どつこう又わくひき又くつわびき又鬼わくどう又牛わくどうなどいふ土佐にてくつひき又やどもりなどいふ奥州にてひきだ又びつき又だいてんばいなどいふ出羽秋田にてもつけと云房總にてあんがう又をかまがへる又ふくあんごうと云武八王子にて山あんかうと云上野にて大ひき又小なるをべつとうと云江戸にて墓ひきがへるといふ

〔重修本草綱目啓蒙〕二十八下蟾蜍 和名ヒキガヘル江戶 フクガヘル畿内、參州、遠州、

フルダ仙臺 ○ クツヒキ土州 ○ トンクワウ薩州 ワコヒキ共 ワクドウ上 ワクヒキ同

○前豊後 ニウドウガヘル石見 ○ トンヒキ信州 ○ オホヒキ上野

夏月夜出テ蚊及ビ諸蟲ヲ食ヒ晝ハ土石間ニ伏シテ出ザル形大ニシテ大腹ナルカヘルナリ○